

研究実践記録

現代に生きる古典に親しむ

～教育相談の視点で授業づくり～

小豆・小豆島中 菊田 夏生

1 単元

蓬莱の玉の枝―「竹取物語」から

2 単元について

- (1) 「竹取物語」は、「源氏物語」の中で「物語の出で来はじめの祖」と記されており、現存する最古の物語文学といっても差し支えない作品である。この最古の物語は、「かぐや姫」として絵本や映画となって形を残しており、生徒にとって身近な題材である。それらと原作を比較することを通して、千年以上経った今でも古典が読み継がれ、現代に息づいていることや、近現代の文学に影響を与えていることを知ることができる。古典を学習する意義やおもしろさを知り、自分の考えをまとめたり伝えたりすることを通して、主体的に学習に取り組み、選択・決定する力を育成するのに適した題材である。
- (2) 授業を実施する1年C組は、自分の考えをすぐに声に出してしまう生徒が多い。発言が多く、多様な意見が出る反面、自分の意見をもたずに他人任せにする生徒もいる。そのためか、自分の意見を書かない生徒や、班活動のときにほとんど発言しない生徒も少なくない。
- (3) 本単元の指導にあたって、原作「竹取物語」を読み、あらすじを確認した後、現代の「かぐや姫」と比較し、物語の設定、登

場人物の言動、場面の情景などについての共通点や相違点を考える活動を取り入れる。その際、「かぐや姫」は、絵本や漫画、動画などの中から、自分が比較したいものや場面を選択することで、生徒の意欲を引き出す。それらを班や学級で伝え合うことで、作品を多角的に捉え、理解することができるだけでなく、自分の考えを認められる経験ができると考える。登場人物の言動を、自分と比べたり重ね合わせたりする中で、描かれている古典の世界を想像するとともに、「竹取物語」が現代の物語文学の基盤となっていることや、現代にも通じる思いや行動があることに気付かせたい。

3 目標

- (1) 歴史的仮名遣いや、古典のリズムを確かめながら音読することで、それらの特徴を理解することができる。(知・技)
- (2) 登場人物の思いや行動について、現代との共通点や相違点を考え、伝え合うことで、自分の考えを確かなものにするすることができる。(思・判・表)
- (3) 進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。(主)

4 学習指導計画

- (1) 「竹取物語」を音読し、物語のあらすじを捉える。…3時間
- (2) 原作「竹取物語」と現代の「かぐや姫」を比較し、共通点や相違点を伝え合う。…2時間(本時1/2)
- (3) 「竹取物語」の魅力について考える。…1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

原作「竹取物語」と現代の「かぐや姫」を比較し、共通点を見つけることができる。 思・判・表)

(2) 学習指導過程 (存)自己存在感の感受、(共)共感的な人間関係の育成、(決)自己決定の場の提供

学習内容及び学習活動	・教師の指導・支援及び評価 (存/共/決)教育相談の視点に立った支援
1 「竹取物語」の内容を振り返る。	・「竹取物語」の内容を確認できるように、ワークシートを見ながらペアであらすじを説明し合う。
「竹取物語」に、現代に共通する言動や思い、設定はあるのだろうか	
2 古典と現代の「竹取物語」を比較する。 (1) 班ごとに、どの場面について、何を比べて比較するのか選択する。 (2) 共通点と相違点をまとめる。 ①個人でワークシートに記入する。 ②班で話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や人物の設定 ・登場人物の言動 ・場面に描かれた情景 ・読み取れる気持ち </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに読んだり見たりしたことがある「かぐや姫」を思い出せるよう、ペアで会話をする。 ・何を比べたらいいか分かるように、比較するときの観点(登場人物の言動、設定、場面の情景等)を全体で確認する。(決)興味のある内容を選べるように、絵本・漫画・動画の該当部分を準備しておく。 ・比較する場面が長くなると難易度が上がるので、教科書に載っている「冒頭」かぐや姫の昇天」ふじの山」の古典で書かれている部分から選ぶように指示する。 ・班での話し合いが円滑に進むように、自分で考える時間を設定する。(存)班で話し合うときに、班員の意見を聞き、自分のワークシートに付け加えたり修正したりするように指示する。 ・意見が出ない班には、比較する観点を確認し、対話によってモデルを作る。 <p>静比較して見つけた、古典と現代の共通点を、自分の言葉でまとめている。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入できていない班員がいる班は、書けている班員に助言を促す。
3 本時のまとめをする。 ・共通点と相違点をどのくらい見つけることができたか、数と内容を班ごとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・班長にワークシートの写真を撮って送るように指示する。 ・送られた写真を提示しながら、発表を行う。 ・古典は昔のものだと捉えるのではなく、現代にも生きているものだ実感できるように、現代との共通点が複数あることを確認する。
4 本時の振り返りをする。 ・自分の考えをもつことができたか、共通点と相違点を見つけることができたか振り返りシートに記入する。 ・感想を交流し、次時につなげる。	

6 成果と課題

古典が苦手な生徒も、班で選んだり、現代のもの比較したりすることで、いつもよりも意欲的に活動し、意見をワークシートに記入することができた。古典の「竹取物語」が、現代に根付いていることやその理由を考えている様子も見られた。

自己決定に関しては、何を・なぜ選ばせるのが重要だと考える。ただ好きなものを選ぶのではなく、自分の学力や興味に合わせて選べるように、材料をもっと検討すべきだと感じた。自ら選んで、意欲的に考えられるような授業になるよう、さまざまな単元でも研究をしていきたい。